

V 財政健全化の取組

本県では「財政改革プラン2017」に基づき、さまざまな行財政改革に取り組んでいます。その結果、令和3年度当初予算では、目標額である95億円を上回る104億円の改革効果を上げました。

また、豪雨災害復旧・復興対策などにより、多額の県債を発行することから、通常債残高の圧縮について、目標の達成は難しくなっているところですが、災害対策などのやむを得ない要因を除いた部分で、財政改革プランに沿って財政の健全化を着実に推進していきます。

令和3年度当初予算における改革措置状況

(単位: 億円)

	目標	3年度当初予算
人件費の抑制	2	5
事務事業の見直し	55	61
社会保障費の増加の抑制	11	11
建設事業の重点化	2	2
財政収入の確保	25	25
改革効果額計	95	104

財政改革プランの目標達成状況

	財政改革プラン		3年度当初予算
	目標	3年度見込	
プライマリーバランス	○平成29年度から令和3年度までの計画期間中に黒字化	226億円の黒字	1,056億円の赤字 (やむを得ない要因(※)を除くと、389億円の黒字)
通常債残高	○令和3年度末通常債残高を平成28年度末に比べ、780億円程度圧縮	平成28年度末に比べ781億円の減	2,663億円の増 (やむを得ない要因を除くと、964億円の減)
	○通常債の発行額及び残高を毎年度確実に減少させる	前年度に比べ発行額及び残高の減少	発行額は490億円の増、残高は583億円の増 (やむを得ない要因を除くと、それぞれ19億円の減と228億円の減)
財政調整等三基金	○予期しない税収減や災害発生による支出増などへの対応に必要な残高を確保する	450億円	158億円

※やむを得ない要因は、豪雨災害復旧・復興対策、国の補正予算対応、国土強靱化対応、減収補填債発行、コロナ感染症対策

<財政改革プラン2017>

〔計画期間〕平成29年度～令和3年度

〔改革の方針〕

- ・計画期間中に基礎的財政収支（プライマリーバランス）を黒字化する
- ・必要な社会資本整備を着実に進める一方、通常債の発行額及び残高を毎年度確実に減少させる
その結果、令和3年度末の通常債残高を平成28年度末に比べ780億円程度圧縮する
- ・計画期間中、予期しない税収減や災害発生による支出増などへの対応に必要な財政調整基金等三基金の残高を確保する

〔改革措置の内容〕

- ・人件費の抑制 … 定員削減や給与制度の総合的見直しを推進
- ・事務事業の見直し … 必要性や効果の低い事業を廃止・効率化・重点化するなど見直しを図る
- ・社会保障費の増加の抑制 … 後発医薬品の使用促進等による医療費適正化等を図る
- ・建設事業の重点化 … 社会資本整備を着実に進めるとともに、県単独公共事業を2%程度抑制
- ・財政収入の確保 … 県税の確保対策の強化、未利用県有地の計画的売却等

